

誇らし、竹原市。」の実現に向けて

令和7年度
当初予算可決！

全体審査での主な質疑

人口減少対策について

- Q** 特に本市でも危惧されている若い女性の市外への流出を防ぎ、定住に繋げることを実現する施策について、令和7年度はどのようにされていくのか。
- A** 若い女性の定住には多様な就職先の確保が必要だが、本市ではそれが困難なため、職場環境の改善やフレックスタイムのような労働時間に柔軟性がある働きやすい職場環境を商工会議所等と協力、連携しながら作り上げてまいります。



本市の財政状況に関して

- Q** 人口減少による市税の減少、財政調整基金が今年度比で減少した次年度の財政状況、プライマリーバランスの状況について伺う。
- A** これらに対して、当然のことながら支出には十分慎重に対応していきます。有利な財源の活用、そして財政を見ながら施策を考えていき、財政計画に基づき持続可能な行財政を保ちながら、住民福祉の向上を推進してまいります。



消防団施設統廃合事業について

- Q** 消防団施設統廃合事業に関して、対象地域の消防団ときちんと対話しているのか、地域の防災力に影響を及ぼさないか伺う。
- A** 当該消防団には御理解を得ていること、また防災対応拠点である消防団施設の統合による老朽化対策等こそ、防災能力の維持に必要不可欠であるため、今後も推進してまいります。



文化財の利活用等について

- Q** 新規事業である亀田家住宅取得・保存活用事業において、現在保存活用されている旧森川家住宅と同様に将来的な在り方を問う。
- A** 亀田家の文化財として有する歴史的・文化的価値を調査した後、保存と観光資源として活用することで旧森川家住宅を模した形で両立していきたい。



認知症高齢者見守り事業

- Q** 認知症行方不明者の安全確保を目指すために、QRコードをシールとして対象者へ配布し貼付するものであるが、GPS搭載機器を貸与したほうが事業効果が高いのではないかと。
- A** それも有効な対策ではあるが、一方で維持費の高さ、使用者の忘却等のリスクが懸念されるため、今後、利便性、効果、コストをより調査研究し、検討していきたい。



将来都市像「元気と笑顔が織り成す暮らし

■予算特別委員会

委員長 山元 経穂

副委員長 蕎麦田 俊夫

予算特別委員会には議案第1号令和7年度竹原市一般会計予算および議案第2号から議案第8号までの7件の特別会計・事業会計予算が付託され、3月3日からの4回の部ごとの詳細審査、3月11日に全体審査を行いました。

討 論

■賛成の要旨 川本 円、蕎麦田 俊夫

以下の理由で賛成する。

- ▶人口が減少する中でも、複合施設整備などは市民の満足度の向上を図る竹原市として、必要な施策となるため
- ▶地域課題の解決や持続可能なまちづくりを進めるために適切な予算のため

■反対の要旨 松本 進

以下の理由で反対する。

- ▶地元企業者の仕事確保や子育て支援など、事業効果が高い施策が早期に実施されていないため
- ▶事業効果が低い公共事業が、人口減少の歯止め策として有効に機能していないため

議案第1号

令和7年度竹原市一般会計予算の修正案

修正内容

提出議員 平井 明道

1) 歳入については3億2千7百万の減とする。

- ①国庫交付金及び補助金(ふるさと応援寄付金は除く)を減とする。

2) 歳出については3億2千7百万の減とする

- ①(款)商工費のうち(目)観光費の中の観光まちづくり事業に要する経費については削除する。
②(款)総務費のうち(目)企画費の中の出会いの機会創出事業委託料については削除する。
③(款)総務費のうち(目)財産管理費の中の公共施設ゾーン再整備に要する経費およびふるさと納税に要する経費については削除する。

修正の理由

竹原市の財政を破綻させる可能性が大きい公共施設ゾーン再整備事業を一旦中止し、補助金の対象となる耐震工事や修繕工事を市内事業者で行えるよう、現在の半分以下の予算に変更すべきである。

修正議案については、本会議において、反対多数により否決されました。

●議案の修正ってなに？

市長から議会に議案(条例の制定・改廃、予算を決めることなど)の提出があった場合、本会議及び委員会では審査し、議決を行います。

議案の内容に対し、議員(委員)は必要に応じて議案を修正することができます。議案の修正を行う場合、その議案の目的の範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を提出することとなります。

